

# 長野市民日記

十二月三十日(金)

西澤尚紘

No. 007

今日は、愛犬のみつお(オス・三才)にお  
しるこを作ってあげた。  
なぜ犬の名前が“みつお”かというところ、三  
年前失恋し、家の中で号泣しながら相田みつ  
お(詩人・書家)の詩集を読んでいる時に生  
まれたからだ。  
昨日から徹夜でもちをつき、京都からとり  
よせた最高級のあずきを煮、沖縄産黒砂糖を  
大量に入れ、おしるこを完成させた。  
いつもは料理とかしない私だったが、この  
日のために近所の料理教室(お正月料理特A  
級コース)に通い腕を磨いたのだ。  
とうとうお昼になったので、もちを二個七  
輪で焼き、あんこの汁の中に入れ、おしるこ  
完成!赤いうるしぬりの椀でみつおに「たん  
とめしあがれ」といつてでした。  
だが、ぜんぜん、みつお食べようとせず!  
「え、犬はおしるこか食べれんのか!? 甘  
すぎるから?もちがダメなの?」  
しかたないので私が全部食したのだった。